

救急外来・小児救急外来について

みどり市民病院では、緑区を中心とした地域の皆様に安心していただけるような救急医療の提供に取り組んでいます。当院は名古屋市の2次救急医療機関として、傷病者の状態に応じた医療を提供し、「かかりつけ医」や各急病センターからのご紹介患者さんの受入れにも対応をしています。名古屋市立大学病院救命救急センターと密な協力体制を敷いており、平日の日勤帯は主に名古屋市立大学の救急科医師が初期診療を行っています。



小児においては、平日夜間および土曜の午後に小児救急外来を行っています。

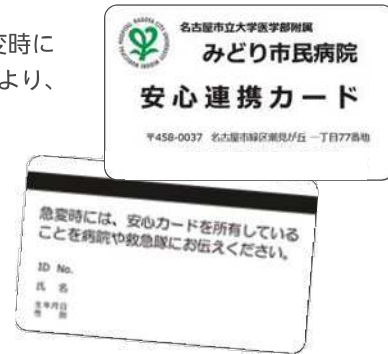
受付時間 **【救急外来】** 平日 11:30～翌 8:45 土曜・日曜・祝日 24時間
【小児救急外来】 平日 18:30～22:00 (21:30 受付終了) 土曜 13:00～17:00 (16:30 受付終了)

※救急車での搬送や患者さんの症状により、お待ちいただく時間が異なる場合がありますのでご了承ください。

安心連携カードのご案内

安心連携カードとは

かかりつけ医等で通院や訪問診療等により治療を受けている患者さんが、急変時に名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院で速やかに適切な医療を受けることにより、安心して療養をしていただけるための、事前登録制の連携カードになります。



安心連携カードのメリット

- 事前に登録することで、時間外など急変に速やかで適切な対応が可能となり、患者さんとご家族に安心を提供できます。
- 病棟とかかりつけ医とで患者さんの様態に関する情報共有ができているため、速やかに適切な医療が提供できます。

お問い合わせ 地域医療連携センター直通 TEL 052-892-1334 [平日 8:45～19:00]

ロゴマークについて



このロゴマークは、令和5年4月に名古屋市立大学医学部の附属病院として、『名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院』に生まれ変わるにあたり、これまで以上に地域の皆様に親しまれる病院としていくために、令和4年度に広く公募を行いました。応募総数40件の中から大学病院化準備委員会の審査の結果、ロゴマークの採用作品が決定しました。

～ 製作者：矢部 達也さん (名古屋市昭和区在住) の意図 (原文抜粋) ～
 「緑」が「みどり」と平仮名に改称されたことを強調するため、「み」から図案。文字の存在感を出し過ぎないように、90度時計回りに回転させて、花のイメージを作った。花は誰にも語りかけ、誰の心も元気にさせる、病院に相応しいモチーフと思う。胸を張ったような凛々しい姿は、医療で地域を支える自信と、ケアシステムの発展を象徴。茎から花にかけ、くるりと大きく結びを作ったラインは地域の包括や、地域との調和を象徴している。葉は両手を広げ、地域の方々をお迎えしている。花は「診る心」「学ぶ心」とともに、地域医療へ貢献する「ケアの心」という思いを込め、ハートの形にした。

イベント出展について

- 令和5年10月28日(土) 緑区区民まつり(大高緑地)
- 令和5年11月25日(土) 緑区防災フェスタ(緑区役所)

発行元 名古屋市立大学 医学部附属 みどり市民病院 広報委員会 名古屋市緑区潮見が丘一丁目77番地 TEL 052-892-1331 [代表]



MIDORI REBORN

開院創刊号

令和5年4月
 名古屋市立大学医学部附属
 みどり市民病院
 が開院しました！



Contents

- P1 病院長あいさつ 基本情報
- P2 TOPICS① 整形外科紹介 TOPICS② 院内感染対策
- P3 お知らせ ●救急外来・小児救急外来 ●安心連携カードのご案内 ●ロゴマークについて ●イベント出展について



名古屋市立大学 医学部附属 みどり市民病院

NAGOYA CITY UNIVERSITY MIDORI MUNICIPAL HOSPITAL

病院長あいさつ



病院長 浅野 實樹 Miki Asano

MIDORI reborn — みどりの心で —

令和5年4月より市立緑市民病院は名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院として新たな医療チームのもと再生いたしました。

緑区・名古屋南部の地域密着型大学病院として市立病院時代の標準的な医療を深化・重層化し急性期から回復期医療までの「治し支える医療」をワンストップで実践いたします。AI診断内視鏡やロボット支援整形外科手術など安全かつ高度先進的医療の提供、感染症・総合内科新設による新興感染症等への対応に加え地域連携パスなどを核に地域医療機関との協働推進で地域包括ケアシステムの発展に寄与させていただきます。建替えの検討を始めた新病院では、緑区中心に加速増大する高齢化や災害リスクに対し行政とも協力しながら自律的に地域医療を持続支援できる機能規模を計画しております。名市大病院群とのシームレスな診療連携を基に患者さんの幸せを追求する『みどりの心』で地域医療の持続的な発展と幸せな健康未来の創出に貢献してまいります。

みどり市民病院 基本情報

診療科

内科、消化器内科、呼吸器・アレルギー疾患内科、リウマチ科、循環器内科、内分泌・糖尿病内科、血液・腫瘍内科、脳神経内科、腎臓内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、乳腺外科、形成外科、整形外科、産婦人科、小児科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、泌尿器科、精神科、放射線科、麻酔科、脳神経外科、救急科、リハビリテーション科、病理診断科、臨床検査科

病床数

205床

理念

地域の健康未来を創造する大学病院として、安全で高度な医療の提供とともに地域医療の持続的発展に貢献する医療人を育成します

基本方針

1. 急性期医療及び回復期医療をワンストップで提供し、「治し支える医療」を実践します
2. 安全で高度かつ先進的な医療の創出とともに、地域医療のニーズに的確・迅速に応えます
3. 地域包括ケアシステムの深化・発展に寄与し、地域との調和及び共生を目指します
4. 「地域を診る心」と「常に学ぶ心」を大切にす誠実で優れた医療人を育成します
5. 先制的かつ集学的な予防医学研究の推進により健康社会の実現に貢献します

みどりの心 ～ 幸せな健康未来、あなたへ～

- ・患者さんの幸せを追求し、安全で高度・先進的な医療を創出する病院
- ・地域の幸せを追求し、共に持続的な成長と発展を目指す病院
- ・職員の幸せを追求し、自律・多様性を尊重し相互信頼を大切にする病院



MIDORI TOPICS

ロボット導入でますます充実【整形外科】

人工関節支援ロボット Mako(メイコー) システムを導入しました

Makoシステムとは、コンピューター制御されたロボティックアームを用いた手術支援システムのことで、CTによる3次元画像データをもとに手術計画を立て、入力することで、より安全かつ正確な手術が可能になります。

Makoシステムを用いた人工股関節置換術は令和元年6月に、人工膝関節置換術は令和元年7月にそれぞれ厚生労働省の承認を得て保険適応となっています。



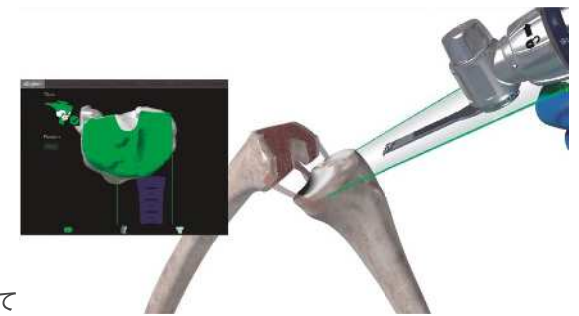
整形外科の医師



Mako (メイコー)

Makoシステムの特徴

1. CT画像を用いた高度な3次元術前計画
→高精度で長持ちする人工関節
2. 術中の靭帯バランスをリアルタイムに調整
→より自然な関節の機能を期待
3. ロボティックアームの制御
→血管・神経・靭帯など軟部組織への不意な損傷を軽減



Makoシステムでの手術イメージ

みどり市民病院整形外科は関節・スポーツの治療に特に力を入れております。一般的な外傷治療はもとより、専門的な人工関節、靭帯再建なども含め、地域の皆様が安心して治療し、笑顔で社会復帰できるようサポートさせていただきます。

新型コロナウイルス及び各種感染症への対応【感染症・総合内科】



感染症・総合内科
診療科部長 長谷川 千尋

みどり市民病院では4月に大学病院化されたことを契機に新型コロナウイルス感染症用の病床を10床準備しました。また5月より新型コロナウイルス感染症にかかる重点医療機関の指定を受けました。病室には簡易陰圧装置を設置し十分な空気予防策のもとに、新型コロナウイルス感染症だけでなく結核が疑われる患者さんや帯状疱疹、麻疹の患者さんの対応も可能となりました。感染症病床の運用に関しては職員の感染対策に関する実践的な知識の向上が必要です。ICT(感染対策チーム)が中心となって各現場で感染対策のリーダーとなるリンクナーズの教育や現場での指導を行いつつ、すべての職員が安心して働けるよう感染対策上有用な物品の調達や各種感染対策に関するマニュアルを策定しています。



簡易陰圧装置が設置された病室